

## 訪問看護ステーションコスモス～ナースの一言

☎077-579-4022

### ☆新年明けましておめでとうございます☆

皆さま、年末年始はいかがお過ごしでしたでしょうか？  
コロナ・地震…等まだまだ不安が尽きない世の中ではありますが…。  
今年も心に残るエピソードを紹介させて頂きたいと思います。



あるご夫婦のお話。利用者であるご主人は100歳に手が届きそうな年齢。奥様は10歳程年下。ご自宅の南側の大きな窓からは庭を眺めることが出来ます。庭には奥様の趣味で四季折々の木や花が植えられています。「季節により表情が変わる庭を眺めるのが慰めです。」とお二人。訪問すると毎回「何も変わりありません。変わらないのに来てもらって悪いくらい。」と仰います。それでいいのです。変わりが無い事を確認することも私達の役割です。とてもゆったりとした時間の中で過ごされているお二人の姿がいつも心を穏やかにしてくれます。

※訪問看護では12月に新たな職員1名を迎えて、看護師計8名体制で訪問看護を提供しています。これからもよろしくお願ひいたします。



## コスモス居宅介護支援事業所～こちら、ケアマネ

男女4人のチームで活動中です。



介護保険の申請、サービス利用等に関する相談を随時受け付けています。まずは、お気軽にお電話ください。

☎077-579-0442



施設長の山田です。

本年もどうぞよろしくお願ひ申し上げます



一日一笑

新型コロナウイルス感染が人々の生活を変化させて約2年。

マスク生活も当たり前になり、気がつけばお互いまったく素顔も知らないままの方もおられます。

私達大人は目をみて相手の気持ちも少しは推し量れますが、子供たちはけんかして勇気を振り絞った「ごめんね」の声が届かずトラブルになることもあるようです。

また乳児が「他者の動く表情」を目にする日常経験は脳と心の発達にとっても重要だそうで、目や口がダイナミックに動く表情を目にしながら喜びや怒りなど相手の感情を理解する能力を発達させるそうです。『いい子だね』などと相手が口から発する音声とそれにとまなう口の動きの視覚情報を統合しながら言語を獲得し、相手の表情を理解し、その表情や音声をまねすることで、相手の心を想像する心、共感する心などを発達させていくそうです。

基本は笑顔！私達コスモスの職員は、今年も「マスクの下はいつも笑顔！」で、皆様の心に寄り添える様努めてまいります。どうぞよろしくお願ひいたします。

